

KIJIMA ORIGINALPARTS

TECHNICAL SERVICE MANUAL



YAMAHA 2024y~ XSR 125

トラッカー ハンドルバー バー付

<商品番号：204-3397(マットブラック)>

/204-3398(メッキ)>

【取扱説明書】



注意

取付け前に必ずお読みください。

作業時間：1.2h

※ミラー脱着含む。

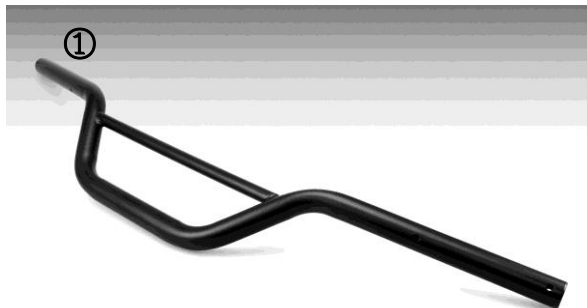
このたびは、当社製商品をお買い上げいただきありがとうございます。
本製品は以下のことをご理解のもと作業していただきますようお願い申し上げます。
作業にあられる方は本体車両メーカーのサービスマニュアルに準ずる知識及び技術を持った方に限ります。

- ・取付け前に商品構成の内容を必ずご確認ください。
- ・本取付け説明書に則った取付けを行う。
- ・道路交通法・道路運送車両法を厳守する。
- ・本製品への加工を加えない。
- ・運行前点検及び、定期的な保守整備を行う。
- ・不具合が発生した場合速やかに使用を中止する。

以上の事柄を必ずお守りください。

万が一、商品に不備があった場合は、取付けを行わないでください。
上記が守られていない場合、商品への保証は一切いたしません。
また、株式会社キジマは本製品にのみ責任を持つものであり、本製品の品質以外（修理費、取付工賃等）どのような事柄に対しても責任を負いかねますのでご了承ください。

《部品構成内容》



部番	品名	個数
①	ハンドルバー本体	1

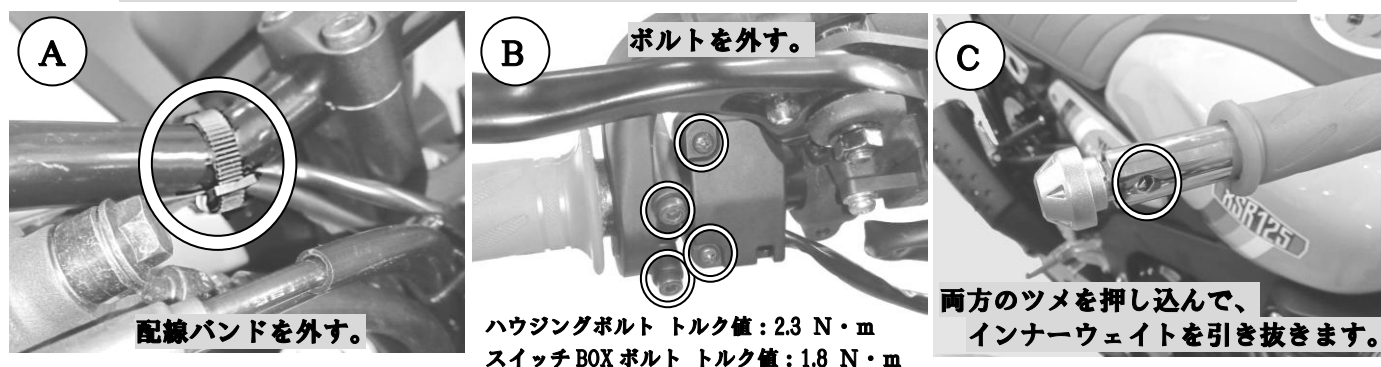
※左写真は204-3397になります。

製品取付けに当たっての注意点

- ※ 本製品は、YAMAHA 2024y- XSR125 (8BJ-RE46J) に適合します。
- ※ 本製品は、純正ハンドルに比べて約 40mmバックで高さは約 30mm高くなります。
全幅：-20mm 全高：+35mm（全幅：±20mm/全高：±40mm）保安基準の一定の範囲内に入る為、構造変更の必要は、ございません。
- ※ 本製品は、ホース/ハーネス/ワイヤーの変更の必要はありませんが、気になる方は、ブレーキホース等適切な長さに変更して下さい。取回しが変わる為、クラッチケーブル等の張り点検調整を行って下さい。
- ※ 本製品のポンチマークは、あくまで目安です。お好みのハンドルの位置に調整してご使用して下さい。
左右にハンドルを切りスイッチBOX等が干渉する場合には、干渉しない様に調整して下さい。
- ※ 本製品のスイッチBOXの穴が若干ずれている場合があります。その場合は、穴を広げる等の加工を行ってください。
- ※ 純正部品の取外し/取付け、ボルト/ナットの締め付けについてはメーカー発行サービスマニュアルに基づいて、確実に行ってください。作業中は、必ずメインキーをOFFにする事。
- ※ 作業中に車体が倒れたりして危険ですので、作業は水平な場所で車体を安定させて行う事。

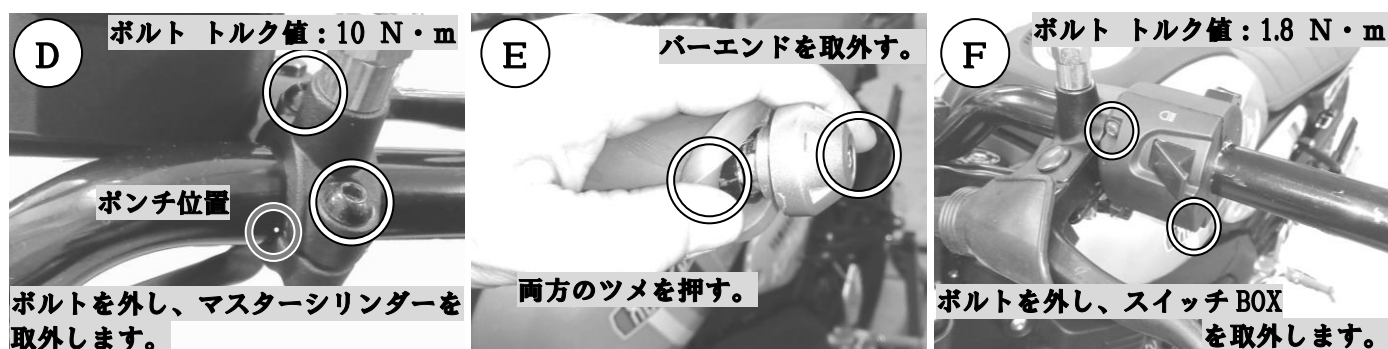
〈取付け方法〉

※本文中や図中に出てくる丸囲み数字は前ページの部品構成内容表の部番に対応しています。



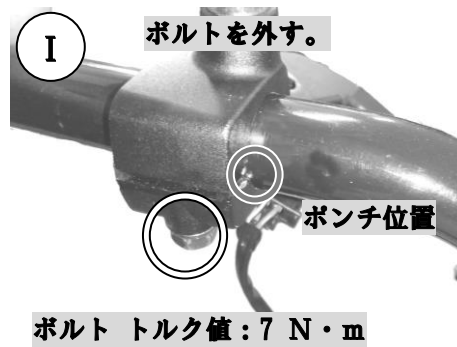
※YAMAHA純正サービスマニュアルを参照し、取付け及び取外しを行って下さい。

- 1、左右のミラーを取外します。※取外さなくても、作業は可能です。 ※規定トルク値: 22 N・m
- 2、左右の配線バンドを取外します。 (写真A参照)
- 3、ボルトを外し、スロットルケーブルハウジングを取外します。※規定トルク値: 2.3 N・m (写真B参照)
※取付け時にハウジングの凸部がハンドルの穴に必ずハマった事を確認の上、取付けて下さい。
- 4、ボルトを外し、右側スイッチBOXを取外します。※規定トルク値: 1.8 N・m
※取付け時にスイッチBOXの凸部がハンドルの穴に必ずハマった事を確認の上、取付けて下さい。
- 5、右側グリップASSYをずらして、インナーウェイトのツメを押し込んで引き抜きます。 (写真C参照)
※取り付け時は、グリップとバーエンドのクリアランスは0.4~4.5mmにして下さい。



- 6、ボルトを外し、マスターシリンダーホルダーごと取外します。※規定トルク値: 10 N・m (写真D参照)
※ブレーキレバーを握らないで下さい。ホース内にエアが入りブレーキの利きが悪くなる可能性があります。
※マスターシリンダーは、できるだけ水平を保った状態にして下さい。
※取付け時にポンチ位置を目安にホルダー部の端面に合わせて固定して下さい。
- 7、左側バーエンドを取外します。 (写真E参照)
※インナーウェイトが回って外せない場合には、手順8へインナーウェイトごと取外して下さい。
- 8、左側グリップを外す又はめくり、バーウェイトのツメを押しながら引き抜きます。
再使用する場合には、グリップを取外します。
※取付け時は、ハンドルバー左側先端にグリップボンドを薄く塗布してグリップを押し込み接着します。
余分な接着剤は拭き取って下さい。完全に接着された事を確認の上、走行して下さい。

- 9、ボルトを外し、左側スイッチBOXを取外します。※規定トルク値: 1.8 N・m (写真F参照)
※取付け時にスイッチBOXの凸部がハンドルの穴に必ずハマった事を確認の上、取付けて下さい。



10、ロックナットを緩めて、ボルト/ナット/レバーを取外し、クラッチケーブルを取外します。

※レバーナット規定トルク値：7 N・m

(写真G参照)

※クラッチケーブルの太鼓部やレバー回転部にグリス塗布をして下さい。

※レバーを外した際にOリングとブッシュが脱落する可能性がありますので、注意して取外しを行って下さい。

11、クラッチケーブルをケーブルガイドから外します。メーターステーとトップブリッジの間に通します。

(写真H参照)

※左側に切った時に若干の張りがでます。気になる方は、別途ケーブルを適切な長さに変えて下さい。

12、クラッチレバーホルダーのボルトを完全に緩めます。※規定トルク値：7N・m

(写真I参照)

※純正と比べて若干塗膜が厚くなる場合があります。入りにくい場合は、すり割り部を開きながら差し込む及び石鹸水で滑らす等の対処をして下さい。



13、ボルトを外し、ハンドルアッパーを取外します。※規定トルク値：23 N・m

(写真J参照)

14、ハンドルを外し、ボンチマークを目安に本体①を取付けます。

(写真K参照)

15、取外しと逆の手順で組み付けて、各部調整を行います。

16、左右にハンドルを切り、問題の無い事を確認して完了です。



※定期的なボルトの締め付け確認を行って下さい。

モーターレク総合開発メーカー

株式会社

キジマ

MOTORCYCLE PARTS&ACCESSORIES KIJIMA co.,ltd.

www.tk-kijima.co.jp

〒123-0841 東京都足立区西新井 4-16-3 TEL. 03-3897-2167 FAX. 03-3897-2138